

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月19日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103169		
法人名	有限会社 幸心		
事業所名	グループホーム つばさ		
所在地	愛媛県松山市姫原3丁目3-7 (電話) 089-917-7770		
管理者	田中 和樹 上田 八千代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月22日	評価確定日	平成20年11月19日

【情報提供票より】 (平成20年7月31日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	11人, 非常勤 4人, 常勤換算 13.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年7月31日現在)			
利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名
要介護3	1 名	要介護4	4 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 63 歳	最高 96 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

調査訪問時、利用者のお友達が訪ねて来られて、昼食を外でとる利用者もおられた。外部研修受講時、事業所が費用面でも協力され、積極的な研修参加をすすめておられる。研修参加希望は、以前に比べ増えてきており、職員の意欲の向上につながっていると話しておられた。新入の職員研修のために、業務マニュアルを作成された。利用者・ご家族に、2か所の協力医療機関からかかりつけ医を選んでもらい、往診を受けておられる。又、希望に応じて専門病院の受診も支援されている。毎月一回、ユニット毎で外出されている。毎日の食材の買い物や、季節の良い時には隣接の公園に行かれている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の外部評価をもとに改善計画を立て、地域との交流や職員の外部研修参加を増やす等、積極的に取り組まれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、職員に聞き取りながら管理者が作成された。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議には、消防署や地区の消防団の方にもメンバーとして参加していただき、防災についてのお話をしていただいた。又、会議時に合わせて、行事を行う等されている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ユニット毎に毎月「つばさ新聞」を作成し、さらに手書きの便りやご本人の写真とともに、ご家族に日頃の暮らしぶりを報告されている。毎週ブログを更新して事業所の様子をお知らせしている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地域の保育所の園児が月2回遊びに来てくれて、利用者は、園児とのふれあいを楽しみにされている。事業所に隣接する公園に来る親子連れとあいさつされたり、時には、立ち寄ってジュースを飲んで行かれることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

1階

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム つばさ

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 田中 和樹

評価完了日 平成 20 年 7 月 31 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			スタッフが集まり、意見を出し合い、理念（行動指針）を作った。		
			(外部評価)		
			「決して焦らず」「決して怒らず」「決して諦めず」の理念のもと、職員で意見を出し合って5つの行動指針を作り、地域の協力を得ながら、利用者のその人らしい生活を支えることを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			介護日誌のファイルに挟んだり、個人に配ったりしている。また、いつでも見られるようにユニット内に大きく貼り出している。		
			(外部評価)		
			事業所には、理念や行動指針を大きく貼り出しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			毎月つばさ新聞を発刊し、週に1回ブログを更新して家族の理解を得ようとしている。地域住民の方には、運営推進会議にて報告している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 裏の公園に行くための通路を確保し挨拶を交わしている。また、公園に散歩に行き話などを行っている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭りや秋祭り、いもたきなどを通じて交流を深めている。 (外部評価) 地域の保育所の園児が月2回遊びに来てくれて、利用者は、園児とのふれあいを楽しみにされている。事業所に隣接する公園に来る親子連れとあいさつされたり、時には、立ち寄ってジュースを飲んで行かれることもある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) これからの運営推進会議にて話し合っていきたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ユニットの入口に貼り、誰でも目を通せるようにしている。改善等も取り組むようにしているが、できていないこともある。 (外部評価) 自己評価は、職員に聞き取りながら管理者が作成された。前回の外部評価をもとに改善計画を立て、地域との交流や職員の外部研修参加を増やす等、積極的に取り組まれた。		自己評価項目に沿って、職員同士で話し合われたり、意見交換する機会を持つ等、サービス評価の仕組みを活かして、職員の気付きを掘り起こし、事業所のさらなる質の向上に向けての取り組みに、つなげていけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
				2ヶ月に一度、運営推進会議を開き、意見をまとめてリーダーミーティングで話し合っている。	
			(外部評価)		
					さらに、会議に出席いただいた方々から活発な意見をいただけるよう、会議のすすめ方等の工夫が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
				回覧板を回してもらい、町内行事にも参加できるように努めている。	
			(外部評価)		
					市の担当者に運営推進会議時の行事に参加いただき、相談できる関係作りに努めておられる。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
				成年後見制度に関しては、所内の勉強会で話をしたが、全員が完璧に把握するには至っていない。 現在は活用していない。	
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過されることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
				リーダーミーティングで話し合い管理者は十分理解しているが、職員全員での話し合いには至っていない。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	経営者、管理者、責任者と家族が話し合いをしている。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。		
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時や、請求書に一言近況を記入するなどして、報告している。 急用のときは必ず電話連絡している。		
15	8	(自己評価) 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。 (外部評価) ご家族の来訪時に、ご家族の要望や意見を聞き取るよう努めておられる。	家族会の設立やアンケートの実施等も検討されていた。ご家族のご意見等をうかがいながら、ご理解や協力を得られるよう、取り組みを進めていかれてほしい。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) リーダーミーティングなどで職員の意見を取り上げ、話し合っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員はできるだけ勤務調整はせず、代わりに経営者が柔軟な対応をしている。 必要に応じてパートを配置している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動があった場合は、利用者が動揺しないように、なじみの職員がフォローをしている。		
			(外部評価) 先輩職員が新しい職員に利用者との関係作り等、サポートをされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ミーティング時に外部から講師を招き、勉強会をしている。 研修の参加を促すが、自主的に参加する人は少ない。		
			(外部評価) 外部研修受講時、事業所が費用面でも協力され、積極的な研修参加をすすめておられる。研修参加希望は、以前に比べ増えてきており、職員の意欲の向上につながっていると話しておられた。新入の職員研修のために、業務マニュアルを作成された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他グループホームと共同で夏祭りを行い、関係作りをしている。		
			(外部評価)		
			管理者は、毎月、市内の数件のグループホームを訪問し交流されたり、相互評価を通じて近隣の事業所との交流も始まっている。		さらに、今後は、利用者や職員も他事業所の方達と交流できるような取り組みを、すすめていかれてはどうか。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			年に数回、食事会やボーリング大会、カラオケなどで発散する場を設けている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者が職員個々の努力を評価して、運営者と課題を考えている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			初期ほど利用者と話す時間を作り、利用者が何を考えているか、上手に聞き出すようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会時に、普段の様々な変化を伝え、これからの方向性を話すようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) さまざまな角度から見て、利用者にとってより良い方向性を考え、他のサービスも視野に入れた選択ができるよう、資料等を準備している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用前調査をして、利用者と家族から情報を取ったり、本人と顔合わせをしたりして、全員が納得した上でサービスを行うようにしている。 (外部評価) できるだけ利用者・ご家族に見学していただくようにすすめておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) その人の得意分野がある時は、スタッフと一緒に作業を行ったりしている。 (外部評価) 職員は、利用者から料理の味付けを教わったり、一緒に調理の下ごしらえをされることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族からの意見をミーティング等で話し合い、その結果を家族に伝え、理解してもらえるように話をしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族、利用者の間に入り、話をして情報の交換を行っている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人の思い入れのある場所や、行きたい場所には時間を作り、ドライブ等に行っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ぬり絵や貼り絵を行い、利用者同士が関われることを行い、関係作りをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 必要とされる方には、毎月つばさ新聞を送付して、今後のつきあいを大切にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に一度、ケアプランの見直しをして、その人にあった暮らし方は何かその都度話し合っている。</p> <p>(外部評価) 職員は、夜間時、利用者とは過ごす時間にお話をゆっくり聞かれたり、ご本人の様子や言動に注意して、意向や気持ちの把握に努めておられる。又、センター方式のアセスメント表を一部用いて、利用者の生活歴の把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用前調査に管理者が必ず関わり、他のスタッフに伝達をしている。 今まで使用していた物を持ち込んでもらい、なじみの暮らしや生活が出来る様にしている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 介護記録や連絡ノートに、変化があればその都度記入し、職員が目を通すようにしている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ケアプラン作成時に全員の意見を出し合い、その人にあった介護計画を立てるようにしている。</p> <p>(外部評価) ケアカンファレンスで、職員全員の意見やアイデアを出しながら介護計画を作成しておられる。</p>		<p>さらに、ご家族と相談しながら、意見等も採り入れた計画の作成に取り組まれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			面会時にケアプランの説明をし、家族の方から意見をもらい、その場に適したケアプランを立てるようにしている。		
			(外部評価)		
			2ヶ月に一度の定期的な見直しと、入退院時等、必要に応じて随時、介護計画を見直しておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護記録等から特記事項を連絡ノートに記入し、全スタッフが把握できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			病院受診の付き添いや、いきつけの美容室への同行等をしている。		
			(外部評価)		
			ふるさと訪問やパチンコの付き添い等、利用者の希望を受けて柔軟に対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) イベントに民生委員を招待したり、避難訓練では消防署員の指示のもと、訓練をしたりしている。また、地元交番には徘徊時の協力をお願いしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人や家族からの希望があれば、他サービスへの紹介をしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) サービスについての相談や研修への参加をしている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 事業所と家族との話し合いで、協力医療機関に往診してもらう場合もあれば、かかりつけ医に定期的に通院する場合もある。 (外部評価) 利用者・ご家族に、2か所の協力医療機関からかかりつけ医を選んでもらい、往診を受けておられる。又、希望に応じて専門病院の受診も支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけの病院で、その人に合った治療をもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護職員や、通院時の看護職員に相談しながら健康管理に努めている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 職員が交替でお見舞いに行き、情報交換を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状況に応じて、家族やかかりつけ医と話し合っている。 (外部評価) ご家族や医師等と方針を共有しながら、看取りを行われた事例がある。		利用者ご本人の重度化、終末期の支援への思いを探ったり、職員間で方針を共有される等、できるだけ早い段階から話し合うような取り組みが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所としてのできること・できないことをある程度見極めているが、今後も検討を重ねていきたい。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用前調査の情報を全員が共有し、その人に合った声掛けや今まで使っていた馴染みのものを持ち込んでもらっている。 退所の場合は、できる限りの情報提供をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			無理強いや、否定の言葉を使わないように心掛けている。また、個人情報に関しては、職員全員に徹底して外部に漏らさないように指導している。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、意思疎通の難しい利用者に対しても、職員は態度や言葉かけに気を配り、ご本人を尊重し支援されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			ゆっくり話をできる時間を作り、その都度説明し納得してもらってから行動を起こすようにしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースを大切にできている時もあれば、スタッフの都合で動いてしまっている時もある。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、利用者のお友達が訪ねて来られて、昼食を外でとる利用者もおられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 行きつけの美容室がある方は、そこに行き好きな髪型にしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者に野菜等を切ってもらったり味見をしてもらったり、一緒に準備等をしている。 (外部評価) 料理の下ごしらえ等、利用者とともに職員も一緒に行っておられる。調査訪問時、利用者・職員が和やかに会話しながら食事を楽しんでおられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が好む物を、一緒に買い物に行き選んでいる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレ誘導等を行い、トイレで気持ち良く排せつしてもらえるように個人の排泄パターンを皆で話し合い把握するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
				声かけをして、本人の意思で入浴してもらっている。	
			(外部評価)		
					毎日入浴される方等、利用者の希望に沿って入浴を支援されている。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
				天気の良い日は、布団を干して暖かい布団でゆっくり休めるように努めている。	
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
				花の水やりや庭の草ぬきなど、個人個人が自由な時間を過ごせる様に配慮している。	
			(外部評価)		
					日常的に料理の下ごしらえを行ったり、洗濯物たたみをされている。ボランティアの方が来られ、生け花教室・似顔絵を描く等、楽しまれている。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
				基本的に金銭は管理しているが、ある程度の金額は各個人が持っている場合もあり、買い物時などに使用している。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			ドライブやファミリーレストラン等、利用者の希望に添えるよう支援している。		
			(外部評価)		
			毎月一回、ユニット毎で外出されている。毎日の食材の買い物や、季節の良い時には隣接の公園に行かれています。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			1ヶ月に1度はイベントを行い、外出している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は自由に使用できるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族等が来られた時は、自室やセカンドリビングでゆっくり話してもらえるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) どうしても必要な場合のみ家族に説明し、同意書を得ている。また、頻繁にケアの見直しを行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は開放しており、自由に入出入りできる。 (外部評価) 日中は玄関を開放し、各ユニットの入口のドアも施錠せずに職員が見守りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 徘徊のある利用者は、こまめに所在確認をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ひやりハットを活用し、代替できるものはそれを使用してもらい、危険を防ぐようにしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットノートを活用し、皆で事故防止に努めている。 マニュアルを作成し、常に目を通してしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員は、消防署の普通救命講習を受講している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員は避難訓練を行っている。また、地域住民が見学する中、避難訓練を実施しており協力もお願いしている。 (外部評価) いざという時には、地域の民生委員の方等、数名の協力が得られるようになっている。		事業所では、今後、実際に民生委員の方達に協力をいただきながら、避難訓練を行うような計画を立てておられた。すべての利用者・職員が安全に避難できるよう、取り組みを重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) その都度、家族と話し合っただけで対応を考えているようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 少しでもおかしいと思ったら、スタッフ同士で情報を共有し、医療機関の指示を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 使用している薬の目的、副作用、用法、用量をスタッフ各自がノートに記入し、把握している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 動ける人は軽い運動をしてもらい、動けない人は入浴時に腹部マッサージを行い、水分摂取を促している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの声かけを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェック表があり、一人ひとりの1日の食事量が分かるようにしている。 (外部評価) 野菜をたくさんとれるようなメニューになっている。食事・水分の摂取量はチェック表で把握されている。		さらに、利用者個々の状態に合わせた栄養摂取の工夫を重ねていかれてほしい。又、時に、職員で食事の内容や量、栄養面等について、話し合うような機会を作ってみてはどうだろうか。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、職員全員が理解できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 定期的にハイターで消毒をし、1ヶ月に一度冷蔵庫の掃除を行っている。 手洗いをまめにするように石鹸を設置している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節に応じた花や野菜を植えている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングには季節にあった張り絵をし、トイレや浴室には手作りの表札をかけて、居室の入口には季節にあった飾りをしている。 (外部評価) 玄関で熱帯魚を飼っておられる。居間や廊下には、利用者が作った作品や貼絵・塗絵が飾られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) セカンドリビングや畳の間、ソファを設置している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			なじみの家具を使用してもらっている。		
			(外部評価)		
			居室には、使い慣れたたんすや座椅子、テーブルやイス、ソファ等置かれ、絨毯を敷いておられる居室もあった。ご家族や愛犬の写真飾っておられる方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓を開放したり、扇風機を使用したり、すだれを使用して温度調節をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			ホームエレベーターや手すりがある。 要らない所の手すりは付け替えたりしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一度にたくさんのことを言わず、一人の人がゆっくり時間をかけて説明する。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花や野菜を植えている。 ベンチを置き、座って過ごすことができる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員は利用者の利用前調査を読んで、利用者の好みや習慣、暮らし方の把握をしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	洗濯物をたたみながら、また、時にはテーブルを囲みゆっくり会話する時間がある。職員と利用者と一緒にお茶の葉を入れたり、野菜の皮むきをしたりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴や食事等は無理強いせず、その人のその日のペースで、本人の意思を尊重している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	支援することで笑顔を見せてくれたり、「ありがとう」と言って表情も明るくなる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	付き添いはするが、本人の気がすむまで行きたい所へ自由に行ってもらおう。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	異変や異常があった際は、すぐにかかりつけ医と連絡を取り合える環境である。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時の気分や体調に合わせて、必要な支援を心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族が来所したときなどに話を聞き、要望などを聞いている。また、その要望にすぐに対応するように心掛けている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	家族以外の親戚や友人が訪ねてくることもあるが、少数である。また、イベントを通じて地域住民が訪ねてくることがある。訪問ボランティアが来ることもある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に参加していただいた方には、理解をしてもらえていると思う。ボランティアが来てくれるようになった。
98 職員は、生き活きと働いている	(自己評価) ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員一人ひとりが笑顔を心がけ、明るい雰囲気働いている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の意思を伝えられる人は、感謝の言葉で分かるが、意思の疎通が取れない人がどう思っているか分からない。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に家族と話し、今の状況を伝え、これからどうしてほしいか家族の要望を聞き、少しでも満足してもらえるように心掛けている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎月新聞を発行している。
毎週1回はブログを更新している。
月に一度はイベントを行っている。
花をたくさん植えている。
部屋の入り口など、季節感の感じられる雰囲気作りをしている。